

学校だより青南

10月号

令和6年10月1日

港区立青南小学校

校長 野口 直樹



「秋」

校長 野口 直樹

暑い日が続いていましたが、ようやく朝夕は、徐々に涼しくなり、夜には、虫の鳴き声が聞こえるようになりました。2学期が始まり、1カ月がたち、子どもたちは、学校での生活のペースを取り戻し、意欲的に学校生活を送っています。

さて、9月には学校外での学習がいくつかありました。はじめに「実りの秋」に関する話題を2つ紹介します。

1年生は、代々木公園にどんぐり拾いに行ってきました。およそ100名がいつぱんに行動をするわけですから、そこには規律のある行動が求められます。表参道の駅まで歩く、表参道駅から代々木公園駅まで電車に乗る、電車を降り、代々木公園まで歩くといった目的地到着するまでの間、この集団での規律が安全に移動するため求められます。

1年生の子どもたちは、整然と表参道駅まで歩き、指定された電車が来るまでの間、表参道駅で静かに待ち、電車内でも静かに過ごすことができました。当たり前のことですが、これがなかなか難しいのです。安全に楽しく活動できた子どもたちをたくさん褒めました。

また、5年生は、春に田植えした静岡県的小山市へ稲刈りへと行きました。5年生の子どもたちは、小山市の職員の方や地元で農業をされている方たちのサポートを受けながら、黄金色に実を付けたたくさんの稲を鎌でひとつかみずつ刈っていきました。秋を感じるとともに、収穫の大変さを知ることができ、大変良い体験活動になったと思います。

この取り組みは、前任の関校長先生のつながりで始まったものだと聞いています。都会に住む青南小学校の子どもたちにとって、本物の田んぼで米ができるまでの一連の体験ができることは、とても有意義なことであると考えています。そして、この活動がコロナの閉鎖期間を超えて、今も行うことができているのは、小山市でこの活動を進めてくださっている皆さんや、田んぼのある湯船地区の皆さんの協力があることに感謝をしたいと思います。

次に、「運動の秋」の話題を一つ紹介します。

10月3日に、連合運動会があります。港区立小学校の6年生の児童が、国立競技場に集まり、様々な競技に取り組みます。

本校の6年生も、自分が選んだ種目の練習に取り組んでいます。それぞれの子どもたちが、自身の定めた目標に向かって練習をしている姿を見ると「今この瞬間に連合運動会を行う価値がある」と感じます。それは、選ばれた者たちがその技を競い合うオリンピックと違い、連合運動会は、「昨日の自分を超えていく」自己の成長と向き合う機会だと私は考えるからです。ともあれ、練習にひたむきに取り組む子どもたち、先生たちにとって、成長を実感できる行事になるよう取り組んでまいります。

【セーフティー教室】

9月7日（土）に、教育ネットの方を講師に招き、情報モラルの学習を低、中、高学年に分かれて1時間ずつ体育館で行いました。小学校低学年から情報機器に触れる機会が多い現代、インターネットの安全で適切な使い方や動画やゲームを使い過ぎない工夫などについて、お話を聞きながら考え、ワークシートに書きました。お家でもお話を聞いてみてください。

【集会委員会】

今年度から、校庭や体育館に一堂に会しての集会が再開しました。限られた時間の中で、全校児童が楽しむためには、どのような内容が良いのか、積極的に話し合い、準備を進めています。1学期のクイズ集会は大盛況でした。残る集会は2回。10月の集会に向けて、休み時間に集まっている姿も見られます。1回目よりも楽しい集会になること間違いなし。ぜひ、期待してください。

【イラスト・マンガクラブ】

イラスト・マンガクラブは部員が30名を超える大人数のクラブです。

絵を描くことが大好きな人、アニメや漫画が大好きな人、今より絵を上手に描きたい人、様々な人が楽しみながら、和気あいあいと活動しています。学年を超えた交流をしようと、6年生が中心になって計画を立て、校長室前に作品を飾ることを予定しています。後期も絵を描くことを楽しんでいきます。

【ソフトボールクラブ】

大谷選手から寄贈されたグローブの影響もあってか、今年は青南小の中で最大人数のクラブとなりました。経験の有無にかかわらず、「全員が楽しめる活動をする事」を意識しています。6年生が中心となり、毎回新しいチーム編成や練習を考えるなど工夫を凝らしています。後期からは、頼もしい6年生の姿から学んだ4・5年生が協力し合い、自主的な運営ができるように取り組んでいきます。